

◆大谷の年度別公式戦出場明細◆

年	所属	満塁本塁打	盗塁	打点	打率	本塁打	盗塁	打率	打点	打率	盗塁	打点	打率
2013	日本ハム	0	0	10	.000	0	0	0	0	0	0	0	0
2014	日本ハム	0	0	11	.000	0	0	0	0	0	0	0	0
2015	日本ハム	0	0	10	.000	0	0	0	0	0	0	0	0
2016	日本ハム	0	0	11	.000	0	0	0	0	0	0	0	0
2017	日本ハム	0	0	11	.000	0	0	0	0	0	0	0	0
2018	日本ハム	0	0	11	.000	0	0	0	0	0	0	0	0
2019	日本ハム	0	0	11	.000	0	0	0	0	0	0	0	0
2020	日本ハム	0	0	11	.000	0	0	0	0	0	0	0	0
2021	日本ハム	0	0	11	.000	0	0	0	0	0	0	0	0

特別扱いなし「二刀流」最終試験

今季の大リーグでは、投打二刀流でMVPに輝いた大谷翔平投手（27）エンゼルス）の歴史的名業が並んだ。9勝&46本塁打&26盗塁、数ある記録の中で、大谷はMVP受賞時にけがなく1年間できてきたことが一番良かったと話した。そこで今回は、人間離れした鉄人ぶりについて話した。

16連戦 登板翌日スタメン18回：

全30球団で18人 出場158試合以上

◆158動4分◆ 18年の渡米後、同年10月に右肘を手術。19年9月に左膝手術。20年には再び右肘を痛め、昨季まで年間を通した二刀流はなかった。今季は一転、シーズン162試合のうち欠場は4試合だけ。欠場のうち2試合はDHが使えないナ・リーグ本拠地。1試合はダブルヘッダーの1試合目、もう1試合はマウンド監督が「彼が望んでいるではなく私の考え」とストップをかけたもので、アクシデンによる欠場はなかった。

◆出場率◆ 今季15.8試合以上出場。今年150球団で18人しかいない。過去に16人がプレーした日本人野手を見て、シーズン158試合以上に上に出たのはイチロー（9度）と松井秀喜（3度）だけ。野手専念でも難し（試合数、二刀流で乗り切った。出場数、二刀流で乗り切った。出場数6イニング以上13度で責任を

米後、同年10月に右肘を手術。19年9月に左膝手術。20年には再び右肘を痛め、昨季まで年間を通した二刀流はなかった。今季は一転、シーズン162試合のうち欠場は4試合だけ。欠場のうち2試合はDHが使えないナ・リーグ本拠地。1試合はダブルヘッダーの1試合目、もう1試合はマウンド監督が「彼が望んでいるではなく私の考え」とストップをかけたもので、アクシデンによる欠場はなかった。

◆出場率◆ 今季15.8試合以上出場。今年150球団で18人しかいない。過去に16人がプレーした日本人野手を見て、シーズン158試合以上に上に出たのはイチロー（9度）と松井秀喜（3度）だけ。野手専念でも難し（試合数、二刀流で乗り切った。出場数、二刀流で乗り切った。出場数6イニング以上13度で責任を

◆日本人投手の21年成績◆

選手	所属	勝利	敗戦	ホールド	セーブ	投球回	安打	本塁打	三振	四球	死球	失点	自責点	防御率	順位
沢村 拓一	(ロッソックス)	55	5	10	0	53	45	9	61	32	2	24	18	3.06	1
前田 健太	(ツインズ)	21	6	5	0	106	106	16	113	32	7	60	55	4.66	2
通算6年(16~21年)		169	59	41	0	762	646	102	834	220	29	348	328	3.87	
岡田 雄吉	(マリナーズ)	29	7	9	0	157	145	27	163	62	5	87	77	4.41	3
通算3年(19~21年)		70	15	24	0	365	381	66	326	131	218	202	4.97		
大谷 翔平	(エンゼルス)	23	9	2	0	130	138	15	156	44	10	48	46	3.18	4
通算3年(18,20,21年)		35	13	5	0	183	99	21	222	74	11	74	72	3.53	
菅原 航平	(レンジャーズ)	10	2	4	0	40	45	11	24	13	4	31	30	6.64	5
外野手	(パドレス)	30	8	11	0	166	138	28	199	44	8	81	78	4.22	6
通算9年(12~14,16~21年)		212	79	67	0	1293	1047	165	1591	442	54	542	512	3.56	

「金」字塔!! 鉄人大谷

果たした。

◆16連戦◆ 今季は16日間連続出場が1度、13日間連続が3度、10日間連続が3度あった。ちなみに日本ハム時代での最長は6日間連続だから、次元が違う。7月のオールスター1期間中も、休むどころか本塁打競争で69イニング、翌日の試合で史上初の投打同時先発と、逆に体力を消耗した。

規定クリア プロ入り初めて規定打席に到達した。ルイスが史上唯一の2桁勝利を2桁本塁打(13勝、11発)を記録した1918年は382打席で、現在の規定打席(14打席)を当てるの2桁打席不足している。

◆DH解除◆ 登板23試合のうち、投打同時出場は20試合。DH解除は19試合で、自己最多の5試合(日本ハム時代の16年)を大きく更新した。73年にもDH制採用後、シーズン19度も解除した選手はもちろん初めて。過去は76年ケン・ブレット(ホワイトソックス)の2度最多で、常軌的には見られない起用。DH解除は、早く降板するとチームの攻撃力低下を招く。重圧がある中、DH解除時に9勝1敗、投球6イニング以上13度で責任を

本拠地のロサンゼルスから時差3時間の東部で8カード、戦2時間の中部で9カード、戦2時間の西部ではブルージェイズとのダブルヘッダーで2試合ともスタメン出場。投手から右翼に回る「二刀流」は4試合あった。

◆無制限◆ 日本ハム時代、登板前後のスタメンは休んでいた。登板前後のスタメンは唯一、16年9月22日に優勝を争ったソフトバンク戦で登板翌日に出た例があるだけ。日本

有原 日本ハムから移籍1年開幕し、4月は6試合に登板。日本で未経験の中4日先発もこなしながら3試合目に初勝利を挙げた。5月下旬、右肩動脈瘤(りゅう)を手術し離脱。9月に復帰するもアピール機会は少なかった。2年目はマイナーからのスタート。カブスからパドレスに移籍して1年目。開幕投手を務め、オールスター戦に選出されるなど前年は7勝3敗、防御率3.09だった。6月には試合数、投球回ともに史上最速で通算150奪三振をマークした。7月に左股関節周辺の炎症で離脱してから、成績は暗転。後半は1勝8敗、防御率6.16に終わった。米通算79勝は野茂(123勝)に次ぎ、黒田に並ぶ日本人2位。

◆日本人野手の21年成績◆

選手	所属	試合数	打点	得点	安打	盗塁	三振	四球	死球	失点	自責点	防御率	順位
大谷 翔平	(エンゼルス)	158	537	103	138	46	100	189	10	26	257	3.18	1
通算4年(18~21年)		424	1400	236	370	93	247	451	196	56	264	3.53	
筒香 嘉悟	(3球団)	81	230	27	50	8	32	72	30	0	217	2.09	2
通算2年(20,21年)		132	387	54	81	16	56	122	57	0	209	2.09	
秋山 翔吾	(レッズ)	88	162	16	33	0	12	40	18	2	204	2.09	3
通算2年(20,21年)		142	317	32	71	0	21	74	45	9	224	2.09	

筒香 3球団でプレー。パイレーツでメジャー3年目の代打3打数連続発や、日本選手では09年イチロー以来12年ぶり2度目の逆転サヨナラ弾。パ軍43試合で8本塁打、25打点。FAで4球団から打診がある中、パ軍と再契約。

秋山 3年契約の2年目は左太もも裏、右太もも裏の負傷もあり、満足なシーズンを送れず。外野手としての守備力は高く評価されるが、渡米後2年連続して本塁打ゼロとパワーを示せないのが敵しい。

1度しかなかったのに、今季は登板前日のスタメンが20度、翌日が18度もあった。特別に呼ばれているのは登板翌日のスタメンでは18試合で9本塁打だから、パフォームは落ちなかった。マドン監督は首脳陣は特別扱いをやめ無制限で力を試した。結果を伴わなければ今後の二刀流起用を見直さず考えもあり、最終試験といえる1年。大谷は休まずに完走して答えを出した。(織田健徳(おわり))